

認知症の人とも一緒にみんなで楽しみたい！

碧南市では、認知症であることを本人や家族が気軽に言うことができ、「大丈夫だよ」と受けとめて地域で支え合うことができるまちづくりを目指しています。2021年5月より活動を始めたオレンジファミリー碧^{みどり}。認知症の人、その家族、オレンジサポーターなどが「仲間」として集い、認知症の人のしたいことや困りごとなどの想いを大切に「私たちにできること」を話し合い、それに向けて活動しています。今回は、オレンジファミリー碧の皆さんに話を伺いました。

問 高齢介護課地域支援係 ☎ 95-9890

オレンジサポーターとは

認知症サポーター養成講座を受講し、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を自分のできる範囲で暖かく見守り支えていく人を「認知症サポーター」といいます。市では、認知症をキーにした取り組みに進んで参加してくれる人を、親しみやすく「オレンジサポーター」と呼んでいます。

利治…たくさんの方と会話できて、いろいろな所へ出かけるのはいいですね。趣味のカメラで活動中の写真を撮ることも楽しいですし、写真に残すことで記憶を形にできています。

みんなができる楽しさ

政子…夫の利治が先に認知症カフェなどに参加していましたが、夫が認知症になったので、私も一緒に参加するようになりました。
近藤…私は母親が認知症になったことで勉強しようと思ったのがきっかけです。知り合いに聞き、様々な認知症に関する所に行くようになり、オレンジファミリー碧も参加するようになりました。

参加するようになったのは



かゆしま としはる
亀島 利治さん

かゆしま まさこ
亀島 政子さん



こんどう ひろゆき
近藤 弘之さん

近藤…みんなと一緒にグラウンドゴルフやボッチャができるのが楽しいです。認知症の人と一緒に自分自身も動けるのか心配でしたが、サポートし合いながらやるのができたのでうれしかったです。自分のできる範囲で何かできたらという思いで活動しています。
政子…この活動は、認知症について、とても勉強になります。認知症は誰しもがなる可能性があるもので予備知識として知っておいた方が安心です。
近藤…認知症の人とそうでない人が、一緒にやりたいことを叶えていくこの活動はとてもいいことだと思っています。認知症は他人事ではないので、お互いに助け合える関係がいいですね。
政子…認知症は悪いことと捉える人もいるかもしれませんが、「周りに「認知症です」と伝えたら助けてもらった経験があります。この会の活動を通して、どんな人でもみんなと一緒に楽しもうという人が増えるといいと思っています。」

交流拠点 オレンジファミリー碧

時 毎月第1金曜日（祝日の場合は第2金曜日）

13時30分～15時

所 大浜まちかどサロンなど市内施設

1. ボッチャで体を動かしました。
2. 表紙のシンボル旗は、みんなで協力して作ったものです。
3. 参加者のやりたいことの中には忘年会も。おはぎとお茶で盛り上がりました。



認知症伴走型支援事業 もの忘れお気軽相談窓口

まずは気軽に相談を！



いのうえ すぐる
井上 卓さん

伴走型支援とは、認知症であっても住み慣れた地域で暮らし続けるために、認知症の様々な変化や課題について早い段階から継続して相談支援を行うことです。日々、認知症の方への生活支援、家族への支援に取り組んでいるグループホームの専門職が、認知症の人とその家族を応援する「伴走者」として寄り添い続けます。

「最近もの忘れが多くなった」など、気になったら気軽に相談してください。本人でなくとも、家族の方の相談も、もちろん受け付けています。相談したことで、「話を聞いてくれただけでも楽になった」と言っている方もたくさんあります。

認知症は誰がいつなるかわからないので、予防も必要ですが、なったとしても重度化しないことが大切だと考えています。認知症にならないようにと思い詰めるのではなく、認知症になってもどうしたら社会と関わりながら充実した生活をしていけるか、視点を変えてみるのもプラスに働くとおもいます。

また、認知症になっても重度化しなければできるとはたくさんあります。もし、周りに認知症の方がみえたら、全てやってあげなさい、助けなさいと気負うよりも、その方と一緒に歩んでいこうという思いで接するといいです。認知症の方の家族には、一人で悩まず、こんな相談窓口もあると知ってもらおう、紹介してもらえるところもあります。

伴走型支援拠点 グループホームたなお

- 所** 源氏町2-31-1
- 相談日時** 毎週火・木・土曜日 10時～15時
- 相談方法** 訪問、電話(☎93-9855)、メール(✉gh-tanao@katch.ne.jp)



認知症カフェ・つどいの場

毎月楽しいイベントもやっています。予約は不要です。気軽に来てください。

ひまわりカフェ



- 時** 5、7、10、11、12、1、2、3月の第3日曜日 10時～11時30分
- 所** 複合施設コリン (大堤町1-11)
- ¥** 100円 (飲み物代)
- 問** 複合施設コリン ☎41-6626

ケアラーズカフェれんげ草



- 時** 毎月第2、第4火曜日 13時30分～15時
- 所** 大浜まちかどサロン
- ¥** 200円 (飲み物代/お菓子付き)
- 問** ケアラーズカフェれんげ草 ☎46-3224

てらまちいどばた会



- 時** 毎月第2火曜日 13時30分～15時
- 所** 西方寺 (浜寺町2-19)
- ¥** 無料
- 問** 碧南南部地域包括支援センター ☎46-5282

認知症家族のつどい・本人交流会

認知症の人と家族の悩みや不安が少しでも軽減し、ホッとできる時間を過ごすための交流会です。

日程（いずれも13時30分～15時）

とき	内容
9月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講座「介護保険サービス～認知症対応型通所介護について～」 ・交流会
11月21日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講座「認知症の薬について」 ・交流会

- 所** 市役所 2階談話室2・3
- 対** 市内在住の認知症の人と介護している家族
- 定** 各15人（先着順）
- 申** 9月4日(水)より電話又は直接高齢介護課地域支援係

へきなんオレンジフェスタ 2024 つながる・ひろがる・オレンジの輪 ～認知症とともに～

認知症をたくさんの人に知ってもらうためのイベントです。認知症に関連したワークショップやカフェ、相談、体や頭を使った体験コーナーもあります。市内店舗のキッチンカーや物販もあります。詳しくは広報へきなん11月号を確認してください。

時 11月30日(土) 10時～14時 **所** 臨海公園

認知症予防セミナー

認知症や脳に関する基礎知識、脳を活性化するための具体的な方法を学びます。詳しくは広報へきなん2025年3月号を確認してください。

- 時** 2025年3月21日(金) 14時～15時30分（予定）
- 所** 市役所 2階会議室4・5
- 講** 公文教育研究会学習療法センター

相談窓口

相談先			電話
地域 包括支援 センター	新川・西端地区	碧南社協地域包括支援センター（へきなん福祉センターあいくる） 月～金 8時30分～17時15分（休日・年末年始を除く）	☎ 46-3840
		碧南社協地域包括支援センター西端出張所（宮下住宅地内） 月～金 9時～16時（休日・年末年始を除く）	☎ 48-3811
	旭・中央地区	碧南東部地域包括支援センター（東部市民プラザ） 火～土 8時30分～17時15分（休日・年末年始を除く／月が休日の場合は月・火を閉所）	☎ 93-1191
	棚尾・大浜地区	碧南南部地域包括支援センター（結いの家ご縁） 月～金 8時30分～17時15分（年末年始を除く）	☎ 46-5282
市役所	高齢介護課地域支援係 月～金 8時30分～17時15分（休日・年末年始を除く）	☎ 95-9890	

地域包括支援センターは、高齢者の健康・介護予防・生活などの様々な相談を受ける総合相談窓口です。誰の困りごとなのか、じっくり話を聞いて確認したら、それぞれの専門家につながる内容によっては、専門家ではなく地域の活動につなげることもあります。そのため、相手のことを理解するために、まずは話を傾聴することをいっつも心がけています。困ったことや気になることがあったら気軽に相談してください。

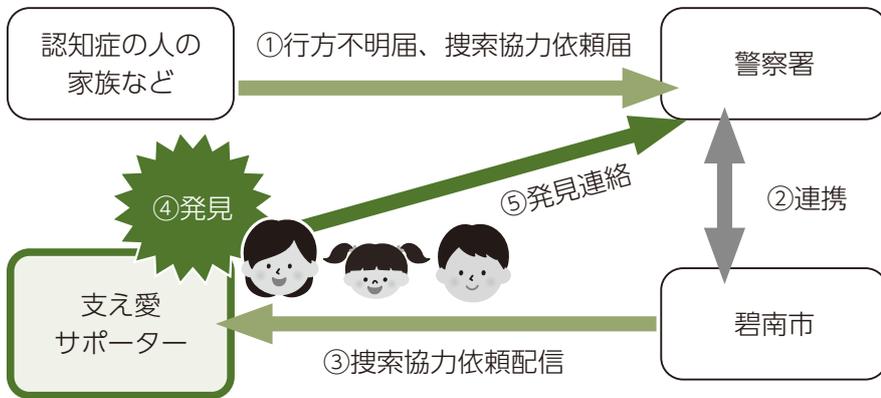
碧南南部地域
包括支援センター
いそがい けんすけ
磯貝 建輔さん



わたしにもできること

安心ッス!! へきなん支え愛ネット

認知症高齢者などが行方不明になった際に、地域の支え愛サポーターにメールやLINEを配信し、より多くの人に検索協力をお願いするものです。



メールやLINEの配信例

行方不明者の検索にご協力下さい
行方不明となった日時：○○
行方不明となった場所：○○
名前：○○ ○○
性別・年齢：○○・○○歳
特徴：身長、体型、服装など
*行方不明者の写真：
http://www.●●●●●●
発見の際は声かけ、通報をお願いします。
連絡先：碧南市高齢介護課、
碧南警察署

▼支え愛サポーター

認知症の人が行方不明になった際に、自分の携帯電話などで搜索協力の依頼メールやLINEを受信する人のことです。メールを受信した場合は、日常生活の中のできる範囲で搜索協力をお願いします。

配信時間は8時30分～20時です。登録は無料ですが、登録やメール配信にかかる通信料は登録者負担です。

●メール配信登録方法

携帯電話などで右の二次元コードを読み取るか、hekinan-kourei@raidan.ktaiwork.jp宛に空メール（件名、本文不要）を送信して登録してください。



●LINE登録方法

碧南市LINE公式アカウントを登録していない人

- ①右の二次元コードやID検索から友だち登録 → メインメニュー右下の受信設定を開く
- ②「欲しい情報」の「高齢者搜索協力」を選択
- ③画面を下にスクロールし「確認」「送信」の順にタップ

碧南市LINE公式アカウントを登録している人

- ①メインメニュー右下の受信設定を開く
- ②「欲しい情報」の「高齢者搜索協力」を追加選択
- ③画面を下にスクロールし「確認」「送信」の順にタップ



@hekinan_city



▼事前登録制度

認知症の人の家族などは、事前に対象者の情報を登録できます。なおメールやLINE配信は、警察署に行方不明届を提出する必要があります。

対 認知症による行方不明のおそれのある高齢者など（若年性認知症を含む）

持 対象者の顔写真（希望時は顔写真をメール配信）

▼認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

- 対**
- ・自宅で生活している認知症や認知症の疑いのある人
 - ・安心ッス!! へきなん支え愛ネット事前登録者で40歳以上の人

補償額上限 1億円（個人賠償責任保険）

申 安心ッス!! へきなん支え愛ネット事前登録の届出時に申請（保険事業のみの加入不可）

早期発見・早期対応が大事です

認知症簡易チェックシステム「これって認知症？」「わたしも認知症？」

自分自身や身近な人に、「あれ？認知症かな？」と思うことはありませんか。認知症かどうかをチェックする目安として簡易チェックシステムを試してください。



認知症ケアパス

「認知症かな？」と心配になった時に、いつどこに相談したらよいか、どのようなサービスがあるかなどの情報を分かりやすく示したものです。認知症は進行とともに状態が変化する病気なので、進行状況にあわせて適切なサポートを受けることが大切です。あらかじめ症状の変化や受けられるサービスを知っておくことは、認知症の人の理解やケアにも役立ちます。認知症ケアパスはホームページでも確認できます。ぜひ活用してください。



認知症初期集中支援チーム

認知症の早期発見・早期対応を目指して、医療・保健・福祉の専門職で構成されたチームです。医療機関に認知症の受診ができない場合や介護サービス利用につながらない場合などにチーム員が自宅を訪問し、必要な医療や介護サービスが受けられるように支援します。高齢介護課や地域包括支援センターへ相談してください。

高齢者が地域で安心して暮らせるまちづくりを推進します 高齢者等見守りネットワーク

問 高齢介護課高齢福祉係 ☎ 95-9888

市では高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように、高齢者等見守りネットワークを推進しています。この一環として、8月1日現在で63の民間事業者や団体と高齢者等の見守りに関する協定を締結しています。協定では、協力事業者が店舗での接客や配達での訪問などの日常業務のなかで、高齢者などの様子に異変を感じたときに、市役所などへの通報をお願いしています。この協定を通じて、さらなる高齢者への迅速な支援や安否確認につながっています。私たちの日常生活の中でも、身近な高齢者などの異変に気付いた場合は同様に連絡・通報をお願いします。安心・安全なまちづくりに協力してください。

▼高齢者の異変を感じる具体例

- ・ポストが新聞や郵便物でいっぱい
- ・洗濯が何日も干しっぱなし
- ・何回も同じ手続きに訪れる
- ・同じ商品を頻繁にたくさん購入している
- ・夏なのに冬の服を着ている
- ・裸足で歩いている
- ・同じところを行ったり来たりしている など

▼事業者の募集

更なる見守り体制の推進のため、協力できる事業者を募集しています。費用はかかりません。高齢者などが安心安全に住み慣れた地域で、長く過ごすことができるよう協力をお願いします。興味のある事業者は、問い合わせてください。
※市内において、高齢者の日常生活圏域で事業活動を行っていることや、日常業務で高齢者と接する機会が多く、協定書に定める見守り活動の趣旨を理解し、円滑に実施できる事業者が対象です。

高齢者等見守り協定イメージ

